

平成30年3月26日（月曜日）

議員参院立足

## 豪雪に強い道路構造に

## インフラ水準引き上げを

自民党の足立敏之参院議員は23日の国土交通委員会で、豪雪への対応やインフラの整備などについて質問した。写真。2月に福井県



で発生した豪雪による大規模な車両の立ち往生の再発防止のため、豪雪に強い道路構造への改善などが必要と指摘。豪雪・積雪で災害

の影響を受けやすい道路は従来の優先度を変え、4車線化やバイパス化を先んじて進めるよう訴えた。

足立氏は福井豪雪では自衛隊だけでなく、地域の建設関連産業や国交省も昼夜を問わず除排雪に当たり、立ち往生の解消など大きな役割を果たしたと強調。地域の建設関連産業が「豪雪や災害には待ったなしの対応が必要であり、つらい役割を担ってもらっている」とし、地域に住み守る建設関連産業の存在の重要性を指摘した。

答弁を求められた石井啓一国交相は建設業が「地域の守り手」として重要な存在との認識を改めて示した上で、「長時間労働の是正、給与・社会保険、生産性向上の3分野で新たな施策をまとめた『建設業働き方改革加速化プログラム』を策定した。引き続き地域の建設業が持続的に活躍できる環境を整えていくよう取り組む」と述べた。

インフラの整備について足立氏は「ここ20年ぐらいの公共投資の削減もあり、世界水準で見ると一流とは言えない。二流、三流に落ち込んでいる」と訴え、「（日本のインフラを）国

にしていくなめには公共投資、公共事業予算をしっかりと確保する必要がある」と強調した。

さらに日本が先進国の中で唯一、国内総生産（GDP）を減らした一方、公共投資を増やし国はGDPを伸ばし、経済成長を果たしていくとも言及。「経済で一流を目指すのであれば、公共投資をしっかりと行いインフラの整備水準も先進国並みに引き上げ（経済の）足腰を鍛え直さないとけない」と述べ、公共事業予算を確保し整備を進めるよう訴えた。

際的に恥ずかしくない水準